

記念企画

大同学園創立50周年

埼玉キャンパス

大同工業大学
〒457 名古屋市南区大同町2-21
TEL (052)612-6111(代)
編集 大同工業大学
企画 広報室

主な記事

学園創立五十周年・学長インタビュー	1面
五十周年記念事業進行状況	2面
卒業式・入学式・大学祭	3面
平成元年度・行事日程	3面
それぞれの国際交流	4面
父母のみなさんへ	4面
シリーズ・厚生施設めぐり	4面
学術・地盤材料について	5面
弓道場完成	5面
平成元年度・人事	6面
新任者の紹介	6面

昭和十四年創立以来、五十周年を迎えた大同学園の歴史はまさに中部地区の産業界と共に歩んできた歴史といえるだろう。本年はまた、大同工業大学二十五周年でもある記念すべき年である。振り返れば、情報処理センター、材料科学技術研究所、さらに本年九月開館の新図書館建設など施設・設備の拡張、また現代化教育の一翼である情報処理教育・アメリカ・オレゴン大学を始めとする海外姉妹提携校との国際交流など、本学は当地域のリーディング校としての役割を担ってきた。今回は、そうした本学の軌跡、その根底に流れる建学の精神、さらには二十一世紀へ開かれた学園を目指す大同学園・大同工大のビジョンに迫ってみたい。

学長インタビュー

中部新国際空港の建設と、それに伴う関連産業の進出が予想される当地域において、時代を先見する技術者育成と共に産業界のシンク・タンクと目される本学の役割は、ますます重要になるだろう。学園創立五十周年を機に、建学の精神に立ち返ると共に、二十一世紀にかける意気込みを藤原学長に伺ってみたい。

二十一世紀へかける国際化、情報化のビジョン

豊かな創造性をバックアップする環境整備の推進を図りながら

情報化時代に伴って価値感が多様化し、大学教育のあり方も見直され始めている

学長 大学とは、研究と教育の場であるというのが元来の理念なんです。二十一世紀を間近に迎える今日では、「真理の探究」とともに、新たな付加価値が必要とされていることは確かですね。

現在、学べき分野が広がっており、その一方で専門の知識が深まっています。そんな中、今こそ根源的な「人間の探究」が必要とされているのではないのでしょうか。多種多様な大規模な情報があふれる現代において、状況の変化に対応できる人間であることはもちろんのこと、未来に向けて創造性豊かな人間の育成が大

切であると考えています。そのために、教職員に対する期待も大きいですね。豊富な学識経験と実務経験を持ち、人間味と熱意に満ちた教授陣、絶えず学業をバックアップす

実学の精神に沿ったソフト&ハードの充実

「建学の精神」に流れる本学の特質を、五十周年を機に振り返りたいと思います。学長 本学の特質は極めて明快で、実学教育の一貫に尽きますね。元々本学は、産業界と密接な関係を持ち、「産業界協同」の精神のもとに創立された大学ですから、大学に

なっていく産業界の情勢に精通でき、常に最先端技術を手中にとり、優れた研究ができるわけですね。本学の重要な使命の一つに、実社会で活躍できる技術者を養成することがあげられます。今年十周年を迎える「材料科

る職員の充実。また、次代を担う魅力ある人材を養成するための大学院の開設など、これら環境整備も大切な大学教育の一端ですね。

学技術研究所」は、実用化に重点をおく産学協同研究を目的としています。また、情報化教育の重要性をいち早く察知し、昭和四十八年に「情報処理センター」を設立。情報化社会における科学技術の方向けと転換がスムーズに実践され、多様なニーズに対応できたと思っています。

国際社会に呼応するグローバルなキャンパスをめざして

新図書館の建設が着工されましたが、今後の本学の展望を。学長 新図書館の建設は長年の夢でした。図書館というのは、大学の顔、シンボルです



平成元年6月完成をめざし、姿を見せ始めた新図書館

春夏秋冬

科学技術の発達と共に季節感がだんだん失われて行く。どんな野菜や果物も年中手に入るし、冬でも半袖ですごせる。晴雨雨説という言葉も、もう過去のものとなった。最近雨靴もあまり見かけないし、雨の日でも傘を持たずに外出する者も多い。

今世紀のはじめに雨を降らす技術が開発された。気球にダイナマイトを積んで上空で爆発させるといいうのだが、実用にはならなかった。雨を止める技術についてはまだ耳にしないが、アーケードを造り、地下道を掘り、渋滞の中を車で行くといった、雨にぬれないことだけのために多くの努力を払っているのを見る。この技術の開発に大金をかけたのはどうしたことか。仏教に安居(あんこ)という言葉がある。サンスクリットで雨期という語から由来し、昔、インドで修行僧たちが春から夏にかけての雨期に外出を禁じ足安住し、ひたすら修行に専心することを言った。

また、これは雨期の外出で草木や小虫を知らず知らずうちに踏み殺すことを恐れたからというわけ。そこには自然の真理を悟覚し、あらゆる生命をいづくしむ心がある。人生にはまた、心の雨期もある。自然の雨は避けることができて心も雨は避けられない。ところがかわらずまっぴらで巡って行く。あわてずあせらず、外への活動をひかえ、目を自己の内に向けてこた。雨は若葉を育て、秋の実りをもたらす。飛躍と発展は深い。はあくなく自己の欲望のためにのみ走りがちである。

自然への畏敬と生命への配慮をなくす時、技術の進歩発展はあくなく自己の欲望のためにのみ走りがちである。地球をまわり、平和共存の世界を可能にする技術でありたいものだ。



藤原達雄学長

創立五十周年 記念事業進行状況

本年が大同学園の創立五十周年にあたることはすでにご承知のことと思います。記念事業の大綱は、昨年のちよどこの時期に発行した本紙で紹介済みではありますが、おそらく多くの方々はこの記憶に薄いことと思いますので、重複をいとわずに記念事業の進み具合や、その後具体化してきた内容をご紹介します。

建設事業

建設・設備関係としては、三つのものが計画され、すでに順調に進行しています。

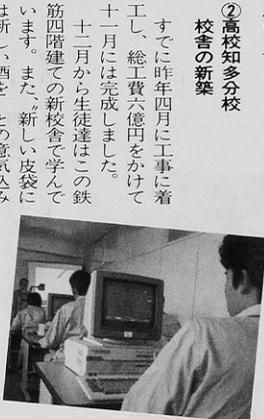
①大学図書館の建設

滝春校舎に総予算十二億円をかけて建設中です。昨年六月の工事着工以来順調に推移し、この新聞が発行される頃には、その美しい姿が初夏の日に映えていることでしょう。しかし、備品の据付けや、図書館の引越など、実際の開館は九月の新学期に実る予定です。収納可能蔵書二十万冊、理工系図書館としては誇るに足る立派なものといえます。教職員、学生はもとよ

②高校知多分校校舎の新築

すでに昨年四月に工事に着手し、総工費六億円をかけて十一月には完成しました。十二月から生徒達はこの鉄筋四階建ての新校舎で学んでいます。また、新しい皮袋には新しい酒を」との意気込みで、分校の先生方も張り切っておられます。新校舎は地域への反響も大きく、この春の分校への入学応募者は大幅に増加しました。今後の分校の発展が期待できます。

③高校の実験実習機器の現代化



近年、高校はカリキュラムの現代化に取り組んでいます。その柱をなすのが、実験実習機器の整備です。すでに昭和六十二年には、パソコン台数では高校日本一に達し、現在は一九〇台が活躍中です。また、特色あるコンピュータ・グラフィック教育で世間の注目を浴びています。平成二年度未だの五カ年計画で二億円を投入して、機器の現代化を推進し、コンピュータ教育の大同を目指します。



大同高校知多分校記念パーティ

③記念講演会

創立五十周年を記念して、九月十六日(月)、ロボット博士で有名な森政弘先生(株式会社自在研究所長・東京工大名誉教授)をお招きして、科学技術と人間の係わりについて講演会を行います。今回の記念講演会は、広く学園外を対象として行われます。もちろん学園関係者、学生、生徒の聴講も歓迎です。聴講希望者には入場整理券が発行されることになると思います。希望者は必ず申し込みをして下さい。

学園五十年史の発行

現在、五十年史の編集がすすまられています。学園はすでに昭和五十四年に文章を中心にした、大同学園四十年史を出していますが、今度のものは写真集であることが特徴です。昭和十四年の学園創立から四十年間は白黒写真、昭和五十四年以降は学園の現況の姿は美しいカラー写真になります。全体では一六〇ページ程度になる予定です。楽しみにしてほしいと思います。

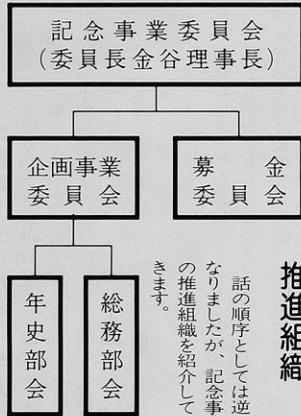
募金状況

今回の記念事業は総額一億円の規模で展開されていますが、そのうち八億円を寄付がまかっています。思い、昨年からの募金活動を展開してきました。これは、大学、高校の後援会、PTA、同窓会あるいは会社関係など、多くの方々のお世話になっております。

すでに多くの方々のご好意により、この四月十五日時点で六億六千万円の寄付申し込みをいただきました。目標額に少し足りませんが、募金期間は来年七月までですが、さらに多くの方々のお申し出をお願いいたします。そして、是非一〇〇%を達成したいものです。

推進組織

話の順序としては逆になりましたが、記念事業の推進組織を紹介しておきます。



学園創立五十周年特集



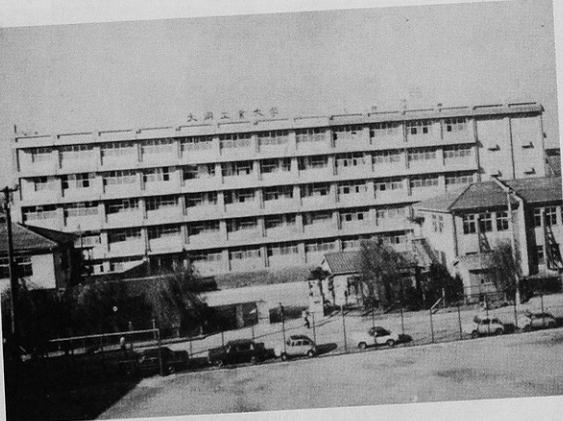
新築なった大同高校知多分校

記念式典など

十月四日(水)、ホテルナポレオンにおいて、各界から約七〇〇名を招待して記念式典が行われることが決まりました。教職員・学生・生徒の代表も出席することになっています。また、教職員に対しては、五十周年を共に祝うパーティ

写真で見る 大同学園50年の1コマ (その2)

大学の草創期から10年間における3枚の写真を選んでみた。



昭和四十二年待望の本館1号館完成

大学の新築校舎 第1号の完成

本学園の高等教育は昭和三十七年に、まず短期大学としてスタートしたが、その二年後には早くも四年制の「大同工業大学」が誕生した。この昭和三十九年という年は、東京オリムピックが開催され、東海道新幹線と日本初の本格的な自動車高速である名神高速道が開通し、日本が世界的な飛躍を遂げた画期的な年であった。大学は発足したものの、当初は校舎として大同高校の木造校舎を使用せざるを得ず、大学としては粗末なものであった。当然、新校舎の建設は教職員、学生の強い期待するところであり、昭和三十九年秋に木造校舎を撤去して新校舎の建設に着手した。三期に分けた工事が完了し、待望の本館(現在の1号館)が完成したのは四十二年の夏の終わりであった。

熱気の立ちこめた 大学祭のコンサート

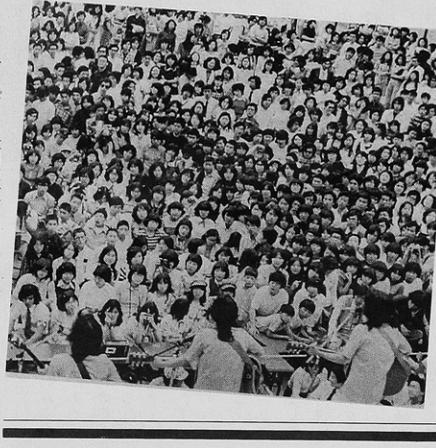
毎年目になること新聞各紙は本学の大学祭を報じて、この地域に大学祭の季節が到来したことを告げる。今年もその季節になった。

右下の写真は今から十五年ほど前、昭和四十年代の後半の大学祭のコンサートの観客席である。人々々々、顔々々々の盛況、若者のエネルギーを感じさせる。手前におかずだがバンド・メンバーの姿が写っている。昭和四十年代の中ごろから、若者たちの間にはフォーク・ソングがはやった。人気のでる前の「あのねのね」を呼んだのもこの当時のことである。



ボート部 関西選手権に 3連勝を飾る

ボート部は短大時から活発な活動を続け、早くも四十一年には東海学生選手権にナックルで初優勝した。四十五年にはエイトで関西選手権に優勝して、ボート界に大同工大の名を高めた。そしてシエラネバダでは四十九年から五十一年にかけて関西選手権に三連勝をかき、五十年には全日本選手権四位、五十一年にインカレで四位と活躍をした。このころがボート部の一番輝いていた時代で、その後パッとした成績がでていないのは残念であるが、昨年あたりから復活の兆しが見え、今後の活躍を期待したい。



学園創立五十周年特集

ケニアへ

(海外青年協力隊に参加)

これが野性の王国!?

昭和56年度
建設工学科卒

太田 吉巳



「アフリカ、何かしらモヤモヤと好奇心の湧く地名です。飢餓、難民、アバウト(ヘイト)、「へー、ケニアですか、大変」返答にこまるのです。広い大地とキラキラした空

の麓に広がる野性の王国、槍一本でライオンと戦うマサイ族の勇士、難病奇病の蔓延する暗黒大陸等々、アフリカというイメージが強すぎると少々拍子ぬけするかもしれませんが、敢にらみに見たケニアを紹介します。

アフリカ人は、総て槍を持つて町中を歩いているのではありません。普通の人は、男ならスボンにシャツ、女の人ならスカート等をはきフリップにブーツを履き、通商途中、新聞を買って見ている人から、日本人はお金持ちと思われる人も、とても複雑な気持ちになります。

流暢な英語を話し、ヨーロッパに数年留学経験を持ち、広い庭付住宅からベランダで通勤、休日にはスポーツクラブでクリケット、ゴルフを楽しんでいる人から、日本人はお金持ちと思われる人も、とても複雑な気持ちになります。

辛論を迫られるものにした口添えて「韓国学術調査隊」に

に参加した。メンバーは、日本側から東京大学院生の黒野氏、雑誌建築家韓国のスタッフから漢陽大学の朴先生の研究室の学生、建設省の梁氏が参加し、日本韓国入り乱れての

は、ルーズで、文化、習慣の違いを自の当りに感じた。また、韓国学生は大変勉強熱心で、探究心と熱意に圧倒されることしばしばであった。期間中には、若干のトラブルや意見の対立もあつたが、それを乗り越えたことさつが、けに、お互いに親近感が芽生え打ち解け合つてきた。調査が終わる、帰国の際には、今まで何年間も一緒にやってきた仲間と別れるような寂寥感におそわれた。空港で何度も再会を誓いあい、そして今でも手紙のやりとりを続けている。

その国際交流

の麓に広がる野性の王国、槍一本でライオンと戦うマサイ族の勇士、難病奇病の蔓延する暗黒大陸等々、アフリカというイメージが強すぎると少々拍子ぬけするかもしれませんが、敢にらみに見たケニアを紹介します。

アフリカ人は、総て槍を持つて町中を歩いているのではありません。普通の人は、男ならスボンにシャツ、女の人ならスカート等をはきフリップにブーツを履き、通商途中、新聞を買って見ている人から、日本人はお金持ちと思われる人も、とても複雑な気持ちになります。

辛論を迫られるものにした口添えて「韓国学術調査隊」に

に参加した。メンバーは、日本側から東京大学院生の黒野氏、雑誌建築家韓国のスタッフから漢陽大学の朴先生の研究室の学生、建設省の梁氏が参加し、日本韓国入り乱れての

は、ルーズで、文化、習慣の違いを自の当りに感じた。また、韓国学生は大変勉強熱心で、探究心と熱意に圧倒されることしばしばであった。期間中には、若干のトラブルや意見の対立もあつたが、それを乗り越えたことさつが、けに、お互いに親近感が芽生え打ち解け合つてきた。調査が終わる、帰国の際には、今まで何年間も一緒にやってきた仲間と別れるような寂寥感におそわれた。空港で何度も再会を誓いあい、そして今でも手紙のやりとりを続けている。

は、ルーズで、文化、習慣の違いを自の当りに感じた。また、韓国学生は大変勉強熱心で、探究心と熱意に圧倒されることしばしばであった。期間中には、若干のトラブルや意見の対立もあつたが、それを乗り越えたことさつが、けに、お互いに親近感が芽生え打ち解け合つてきた。調査が終わる、帰国の際には、今まで何年間も一緒にやってきた仲間と別れるような寂寥感におそわれた。空港で何度も再会を誓いあい、そして今でも手紙のやりとりを続けている。



クラブ活動発表

クワイアクラブ

第1回演奏会開催

クラブ創立三年目のクワイア(男声合唱団)が、本年二月二十六日(木)に名古屋教育センター(熱田区)にて第一回演奏会を開催した。夜六時三十分開演のこの演奏会は四ステージ構成で、第一ステージを「愛唱歌」と題し「森の歌声」「オレゲジの歌」他三曲、第二ステージ

「一度」「君といつまでも」他一曲、いずれも一般によく知られた曲を選び合唱にあまり興味のない人にも親しみ易く構成されていた。そして第二ステージでは本格的合唱曲

「一度」「君といつまでも」他一曲、いずれも一般によく知られた曲を選び合唱にあまり興味のない人にも親しみ易く構成されていた。そして第二ステージでは本格的合唱曲

「一度」「君といつまでも」他一曲、いずれも一般によく知られた曲を選び合唱にあまり興味のない人にも親しみ易く構成されていた。そして第二ステージでは本格的合唱曲

「一度」「君といつまでも」他一曲、いずれも一般によく知られた曲を選び合唱にあまり興味のない人にも親しみ易く構成されていた。そして第二ステージでは本格的合唱曲

「一度」「君といつまでも」他一曲、いずれも一般によく知られた曲を選び合唱にあまり興味のない人にも親しみ易く構成されていた。そして第二ステージでは本格的合唱曲

「一度」「君といつまでも」他一曲、いずれも一般によく知られた曲を選び合唱にあまり興味のない人にも親しみ易く構成されていた。そして第二ステージでは本格的合唱曲

有望視されるキックボクサー

86M125

白木 貴之くん



地元の新人プロキックボクサーとして活躍する、我がヒーロー白木貴之君(岐南工業高校出身)を紹介しよう。白木君がキックボクシング

を始めたのは本学に入学後、サートとして活躍する。我がヒーロー白木貴之君(岐南工業高校出身)を紹介しよう。白木君がキックボクシング

を始めたのは本学に入学後、サートとして活躍する。我がヒーロー白木貴之君(岐南工業高校出身)を紹介しよう。白木君がキックボクシング

を始めたのは本学に入学後、サートとして活躍する。我がヒーロー白木貴之君(岐南工業高校出身)を紹介しよう。白木君がキックボクシング

を始めたのは本学に入学後、サートとして活躍する。我がヒーロー白木貴之君(岐南工業高校出身)を紹介しよう。白木君がキックボクシング

を始めたのは本学に入学後、サートとして活躍する。我がヒーロー白木貴之君(岐南工業高校出身)を紹介しよう。白木君がキックボクシング

を始めたのは本学に入学後、サートとして活躍する。我がヒーロー白木貴之君(岐南工業高校出身)を紹介しよう。白木君がキックボクシング

を始めたのは本学に入学後、サートとして活躍する。我がヒーロー白木貴之君(岐南工業高校出身)を紹介しよう。白木君がキックボクシング

を始めたのは本学に入学後、サートとして活躍する。我がヒーロー白木貴之君(岐南工業高校出身)を紹介しよう。白木君がキックボクシング

クラブ訪問



とても鉄道趣味というものは今一つメジャーになれないため、周囲から「オラオラ」というイメージで見られているようですが、決してネクラな

とても鉄道趣味というものは今一つメジャーになれないため、周囲から「オラオラ」というイメージで見られているようですが、決してネクラな

とても鉄道趣味というものは今一つメジャーになれないため、周囲から「オラオラ」というイメージで見られているようですが、決してネクラな

とても鉄道趣味というものは今一つメジャーになれないため、周囲から「オラオラ」というイメージで見られているようですが、決してネクラな

とても鉄道趣味というものは今一つメジャーになれないため、周囲から「オラオラ」というイメージで見られているようですが、決してネクラな

とても鉄道趣味というものは今一つメジャーになれないため、周囲から「オラオラ」というイメージで見られているようですが、決してネクラな

第11回アメリカ短期留学

フリータイムが多くなりました



11回を迎えるアメリカ短期留学。今回はオレゴン大学とオレゴン州立大学での留学期間内に、より見聞が広がるようにと、自由時間が多くなる他、キャンパス内での資料収集や、学生と直接対話できる時間を設定しています。

交流会
7.修了証書授与式(UofO)
【主な旅程】7月7日(金)名古屋~成田~ユージン(16日間)~カナダ(バンフ)~ピクトリア~ロスアンゼルス~成田(24日間) <7月30日(日)>
【募集期間及び参加費】
●募集期間—4月11日(火)~5月12日(金)
申込場所—学生課・学生会
●参加人員 約35名
●参加費 38万円

【University of Oregon・Oregon state Universityでの活動内容】
1. Summer Session 講義参加
2. Home Stay (3日間)
3. Special Lecture (3回)
4. Campus Visiting
5. 学生自身による資料収集
6. 学生間の交歓会・スポーツ

【平成元年度行事日程】
4/月 後援会説明会
5/月 後援会
5/月 会計監査
5/月 役員会
6/月 支部長会
6/月 総会・個人面談
7/月 地方懇談会(○会場)
7/月 地方懇談会(○会場)
7/月 地方懇談会(○会場)
7/月 地方懇談会(○会場)
7/月 地方懇談会(○会場)

【平成元年度行事日程】
4/月 後援会説明会
5/月 後援会
5/月 会計監査
5/月 役員会
6/月 支部長会
6/月 総会・個人面談
7/月 地方懇談会(○会場)
7/月 地方懇談会(○会場)
7/月 地方懇談会(○会場)
7/月 地方懇談会(○会場)
7/月 地方懇談会(○会場)

加者決定

韓国へ
(日韓合同韓国住居調査に参加)
勉強熱心な学生
昭和63年度
建設工学科卒
歸山 明也



の合同調査隊であった。韓国の済州島に到着すると調査地である農村集落の鳳城里や漁村集落である下規洞へ向い、調査期間中韓国の学生とともに過ごした。韓国の学生は太妻礼儀正しく、目上の人の前ではタバコやアルコール類はほとんど飲まず、勧められてはじめて目に付かないところでそつと飲むのである。食事にしても、目上の人から手付けなければ、自分からは決して手をつけようとはしない。儒教の影響もあるだろうが、その徹底ぶりには驚かされた。その反面、時間に

はルーズで、文化、習慣の違いを自の当りに感じた。また、韓国学生は大変勉強熱心で、探究心と熱意に圧倒されることしばしばであった。期間中には、若干のトラブルや意見の対立もあつたが、それを乗り越えたことさつが、けに、お互いに親近感が芽生え打ち解け合つてきた。調査が終わる、帰国の際には、今まで何年間も一緒にやってきた仲間と別れるような寂寥感におそわれた。空港で何度も再会を誓いあい、そして今でも手紙のやりとりを続けている。

はルーズで、文化、習慣の違いを自の当りに感じた。また、韓国学生は大変勉強熱心で、探究心と熱意に圧倒されることしばしばであった。期間中には、若干のトラブルや意見の対立もあつたが、それを乗り越えたことさつが、けに、お互いに親近感が芽生え打ち解け合つてきた。調査が終わる、帰国の際には、今まで何年間も一緒にやってきた仲間と別れるような寂寥感におそわれた。空港で何度も再会を誓いあい、そして今でも手紙のやりとりを続けている。

はルーズで、文化、習慣の違いを自の当りに感じた。また、韓国学生は大変勉強熱心で、探究心と熱意に圧倒されることしばしばであった。期間中には、若干のトラブルや意見の対立もあつたが、それを乗り越えたことさつが、けに、お互いに親近感が芽生え打ち解け合つてきた。調査が終わる、帰国の際には、今まで何年間も一緒にやってきた仲間と別れるような寂寥感におそわれた。空港で何度も再会を誓いあい、そして今でも手紙のやりとりを続けている。

父のみなさんへ

日夜努力しております。鉄道旅行研究会としてスタートして、今年で十年目。一つの歴史の節目を迎えた今、心機一転して大学の行事に積極的に参加するなど、充実した部活動を繰り広げようと思っております。最後に、鉄道ファンは決してネクラではありません。私たちが鉄道にはあふれるやる気満々の人をお待ちしております。(写真はJR北海道の名物列車「アルファ・コンチネンタルエクスプレス」を前に御満悦の現部長であります)

後援会の主たる事業内容

- 学生配布用学生便覧・PLEASURE作成
- 学生健康診断諸費援助
- 学生指導関係諸費援助
- 地方懇談会諸費援助
- 学生会経常費援助金
- 学生行事援助金
- クラブ奨励援助金
- 学生用品類補助
- アメリカ短期留学補助
- 図書館建設費援助

平成元年度 地方懇談会一覧

地区	期間	会場名
愛知	7月2日(日)	名古屋都ホテル
中国	7月8日(土)	岡山ターミナルホテル(岡山)
近畿	7月9日(日)	ホテル阪神(大阪)
四国	7月9日(日)	高松グランドホテル(高松)
長野	7月9日(日)	松本マウントホテル(松本)
岐阜	7月15日(土)	岐山会館(岐阜)
九州	7月16日(日)	鹿児島東急イン(鹿児島)
静岡	7月16日(日)	グランドホテル(浜松)
三重	7月23日(日)	ホテルサンルート(津)
北陸	7月23日(日)	金沢都ホテル(金沢)

夕食もあるですよ

今や、大学の食堂は単に空腹を満たすだけではなく、ひとつの自己表現の場となつている。そこで、シリーズ第一回は滝春校舎学生食堂を紹介しよう。場所は滝春校舎学生ホールの一階にあり、近代的

滝春校舎 学生食堂

で表彰を受けている。最後に人気の店長、鬼頭進さんに登場願おう。「若い人達の味覚に合わせて、常においしいものを安く、と心掛けています。大いに利用して下さい。」

シリース 厚生施設めぐり

1
で衛生的な厨房設備をはじめ、冷暖房の空調が完備されている。総席数は、六〇席、食券販売はすべて自動販売機で、スムーズに注文が受けられるようになっている。
営業時間は昼の部が午前十時三十分から午後二時まで、夜の部は午後四時から午後七時三十分まで。特に、夜の部はクラブ活動を終えた学生や下宿生に大変好評である。一日平均で六百食出るとい、人気メニューはA定食とカレーのこと。またA定食になる衛生面だが、これも心配ない。毎年名古屋市食品衛生協会南支部より「食品衛生の向上に努力をした」ということ

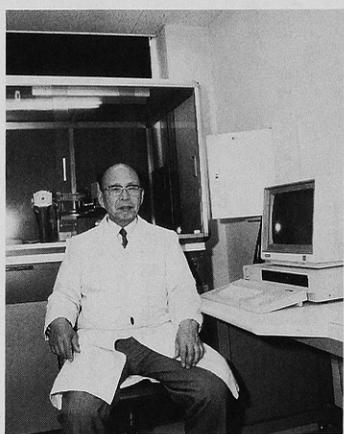
学術

地盤材料(土質安定材料)について

建設工学科教授 三瀬 貞

中部新国際空港など
巨大プロジェクトの
すべてに関わる

土木関係の施設や構造物の多くは、海洋構造物をも含めて、従来から地盤(岩盤、土や地盤中に築造されてきた。巨大プロジェクトである青函トンネル、本四架橋、東京湾国際空港等を含むワウロターフロントの問題や大深度地盤構造物(チオフロント)あるいは最近よく話題になっているニヤモーターカー等の問題は、すべて地盤や土質基礎構造物と大きくかかわっているものである。



堤防、海岸埋立地等のように長大であり、巨大であるので、これらの構築や改良等に使用される材料は、何よりも安価でないと全体の工費が膨大な金額となり、いかに立派な構想であつても経済的に実現できないことになる。

この地盤あるいは土質は、複雑な酸塩基化合物を主体とした土粒子と土粒子間隙に存在する水と空気とから構成される三相(固相・液相・気相)共存のシステムである。

粘土質地盤の場合は、特別な方法で脱水したり、空隙を充填したり、あるいは土粒子相互を接着材でくっつけたりしなければならぬ。粘土は、コロイド状態になる場合が多いので、その強化のためにはかなり高度の物理学・化学・生物学・鉱物学等の知見が必要であるが、それらに加えて、土木構造物は、道路、ダム、河川

現在注目を浴びる
軽量盛土工法を昭和
四十五年の特許申請

昭和三十年頃から筆者は、大阪や堺の臨海工業地帯の埋立地で歩くこともできない沼

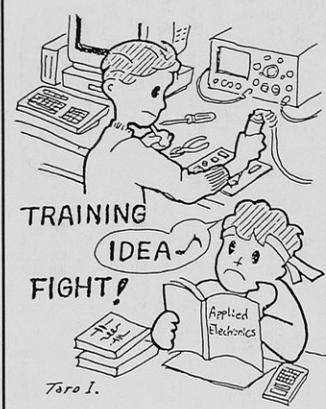
地のような超軟弱地盤の改良を研究していたが、そのとき発泡スチロール等の軽量体を敷きつめて、その上に盛土する方法を考案し、大規模な試験施工を行ない良好な結果を得たので、昭和四十五年に日本特許を取った。ただこの当時特許は、土地の値段も安かった

経済上の理由で実用化にまで至らなかった。これも大分紛争で特許とろてないうちに、他の会社が改良し、折から起ったドロの公害問題で、その具体的な解決方法として実用化されていた。

安全に、安価に、短期間に、良好な環境下で施工へ

古くは丹那トンネル、関門トンネル、近くは黒四ダム等の湧水、漏水で苦勞した難工事が、水と会合して瞬結したり、逆に遅延したりする各種薬液注入工法等の開発、改良により、湧水を自由にコントロールできるように、コンクリートのような大規模な海底地盤の掘削が容易になった。

最近では、鉄筋コンクリートやファイバーコンクリートに似た土の強化工法が研究開発され、安全に、確実に、安価に、短期間に、しかも良好な環境の下で施工できるようにするために、若い人達の英知と努力に大いに期待するものである。



教授 石川太郎

なぜ「応用」がつくのか...

電子が関与する現象や法則に基づいて考案し、装置の生産と応用システムの運用まで包含したもので、いわゆる

と応用能力が必要である。つぎに、広汎な電子工業分野に対処する技術的教育法として、一般的には基礎科目をしっかりと修得させるしかないと言われまが、前述の願望の一つは電子工学を学ぶ

新日本製鉄埋立地で成功した「ケミカルドレイン工法」開発

その当時、太平洋戦争の終結で米軍が南方海域で使用していた水陸両用戦車が、米国内で多数遊んでいたため、大阪府会社に頼んで堺に持ってきてもいい、この戦車の上から、(ドロに混ぜてこれを硬化する工法を考案し、大規模の試験施工で成功したが、この工法と同じ頃、ポー

ラムの先端に配置する。三、繰り返し回数が多いFOR文は使用しない。四、キー入力と画面処理に同期性を持たせるにはINK EYSの空読みが有効。

角外字コード出力のPUT@文を利用する。八、プリンターのE(エラー)モードはE文字が連続している状態でないとき正常に機能しない。空打ちによる印字位置の調整が必要である。九、プリンターを即時に停止させる方法はない。十、シーケンシャルファイ

今年四月、本学の元浜第二グラウンドに弓道場が完成した。この弓道場は洋弓と和弓の兼用で、和弓は鉄骨造一階建(床面積五三・四六㎡)の和弓道場をもち、的は取り外しができるようにしている。一方洋弓の練習場は最大七十mまで射

また、矢が通る所はすべてネットで囲まれ、安全面での配慮がなされている。この弓道場の完成によって、今後弓道部、アーチェリー部の練習の充実がはかれる。クラブ活動の活性化につながっていくと期待は大きい。

学科紹介 4 応用電子工学科

知的集約的産業としての「電子工業」を対象としています。これらは最近の社会を変化させてつあり、二世紀に向かって産業全般の構造改革も予想されています。それには電子技術者自身、これに対応できる柔軟な頭脳

研究室訪問 4 数学教室

簡易ワープロをBASICで作成する場合の初等的な問題をいくつか紹介したい(98VMとPR1201Hを使用)。

「塵集め処理」を防ぐため文字配列変数の使用には注意を要する。二、頻繁に参照するためプログ

五、NFERキーのコードは機種により異なる。六、テキスト画面の下フラスはGDCで行う。七、半角外字の画面表示は条件、ラメーターを伴った全

BASICの有効利用

また、矢が通る所はすべてネットで囲まれ、安全面での配慮がなされている。この弓道場の完成によって、今後弓道部、アーチェリー部の練習の充実がはかれる。クラブ活動の活性化につながっていくと期待は大きい。

学位取得
おめでとうございます。
機械学科 正勝助教

学位論文 Martin boundaries of Denjoy domains and quasiconformal mappings
提出先 京都大学 取得学位 理学博士 (三月三日付)

表彰
去る三月三十一日、金谷理事長から、九大運輸代行サービス(株)職員・岡靖夫氏に表彰状と記念品が贈呈された。これは、氏が多年にわたる自ら率先して本学環境

学位論文
提出先 工学博士 取得学位 (二月二日付)

人事

◇新任◇
 ◎昭和三十九年二付
 助教授 小野 宗憲 (材料科学 平成元・四一付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

◎昭和三十九年二付
 助教授 松宮 里佳 (総務課 平成元・三・三二付)
 ◎平成元・三・三二付
 教授 萩原 誠 (建設工学科)

掲示板

大学から学生へ

行われます。個人的な秘密は厳守してください。4月に実施した健康診断の結果は掲示してあります。なお、再検査を呼出された学生は、保健室で説明を聞き、必ず検査を受けてください。

図書館

特別免許状を設け、また各相当学校の教員の相当免許状を有しない者が非常勤講師に充てることできる等、教員の資質能力の向上を図ることを旨としている。

就職指導課

◎二、三年次生へ
 将来の、自分の人生の夢をかなえる就職について、ゆっくり考えたことがあるだろうか。自分ごとの方向に進みたいかを考え、まとめてほしい。◎四年次生諸君へ
 就職を希望する諸君にとっで、不安な日々が増すばかりである。まず自分が応募したい企業を決定し、行動することが大切である。今年の就職協定は
 ◎8/20より 企業訪問
 ◎10/1より 採用内定
 であるが、卒担任教員とよく相談してほしい。

教務課

教育職員免許法の改正から

「教育職員免許法等の一部を改正する法律」の成立に伴い、平成元年四月一日から制度改正が行われることになった。これにより、普通免許状が専修免許状、一種免許状、二種免許状の三種に改められ、中学校教諭(級普通免許状、高等学校教諭(級普通免許状)が、それぞれ一種免許状に改められた。

AV(Audio Visual)資料

新図書館ではAVボックスやAVラウンジのブースを設置し、AV資料が館内で自由に利用できるようになり、資料の形態・数量とその主な内容が決まりましたので御紹介いたします。

情報処理センター

情報処理センター演習室(三〇一室)をみました。昨年十月から、端末機が一新されています。今度の端末機は、ホストコンピュータの端末として、従来同様に利用できるだけでなく、パソコンとしても使用できます。パソコンとして、ペーシック言語によるプログラミングの利用はもちろん、日本語ワープロ、表計算、ファイル転送等の機能を持っています。そして、この利用については、四月に規則が改正されたことにより、本学の学生であれば、自由に使えます。例えば
 ◎パソコンとしては、端末が空いている限り、自由に使用して下さい。
 ◎CIP仕様の利用については、申請書をセンターに提出し、ユーザIDを受けて利用して下さい。
 以上の利用については、無料です。

保健室より

保健室は、健康診断、健康相談、救急処置の実施と大学におけるヘルプセンターとしての保健教育を目的としています。例えば、発熱、体力減退、生活上の栄養に関する問題や、他人に言えない精神的な悩み、心の悩みなどありますが、遠慮せず保健室をご利用ください。また相談内容によっては、大学校医の指導により、医療機関への適切なアドバイスも

改正の趣旨

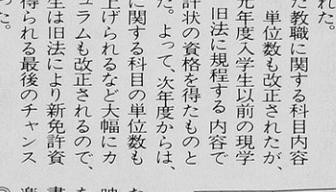
教員養成課程における専門性の一層の向上を図り、また深い学識を備えた者が教職に就くことができるよう、普通免許状を専修免許状、一種免許状及び二種免許状の三種に改め、大学において普通免許状授与のために修得する単位数を引き上げるとともに、学校教育の多様化等に対応し、社会的経験を積んだ教員にふさわしい者を招致するため、

編集後記

本年は学園創立五十周年、大学二十五周年を迎え、それを記念して、建設中の図書館が姿を見せている。九月の開館に向けて着々と準備が進められている。この節目を契機に、本学の内容をより一層充実させ、新中大同工大として変身すべく願いを込めたい。



〈AVブース〉



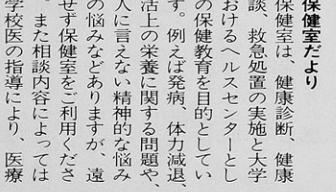
〈AVブース〉



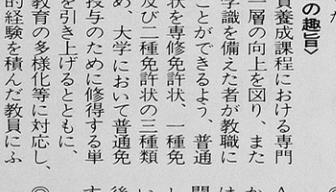
〈AVブース〉



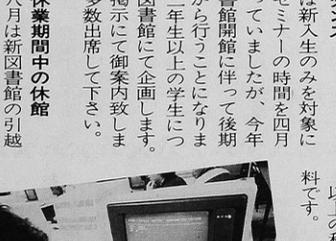
〈AVブース〉



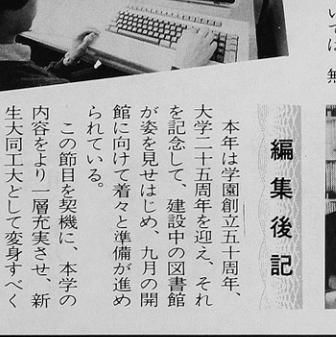
〈AVブース〉



〈AVブース〉



〈AVブース〉



〈AVブース〉